

## 第2章 本市の障害者の現状

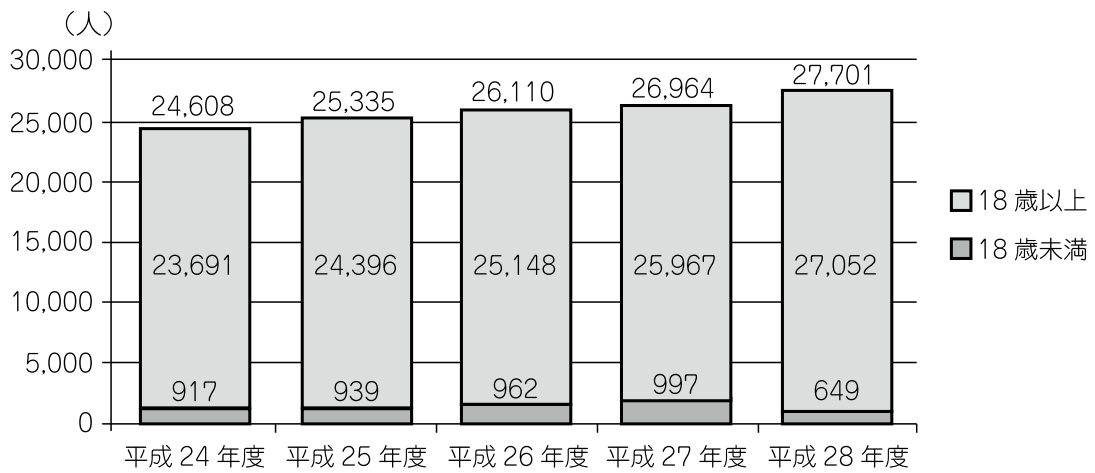
### 1 障害者数の推移

#### (1) 身体障害者

##### ① 身体障害者手帳の交付状況の推移

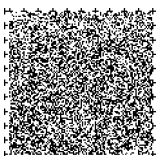
身体障害者手帳の交付状況の推移をみると、毎年度、増加傾向にあり、平成24年度の24,608人から平成28年度には27,701人となっています。

図1-1 身体障害者手帳の交付状況



(人)

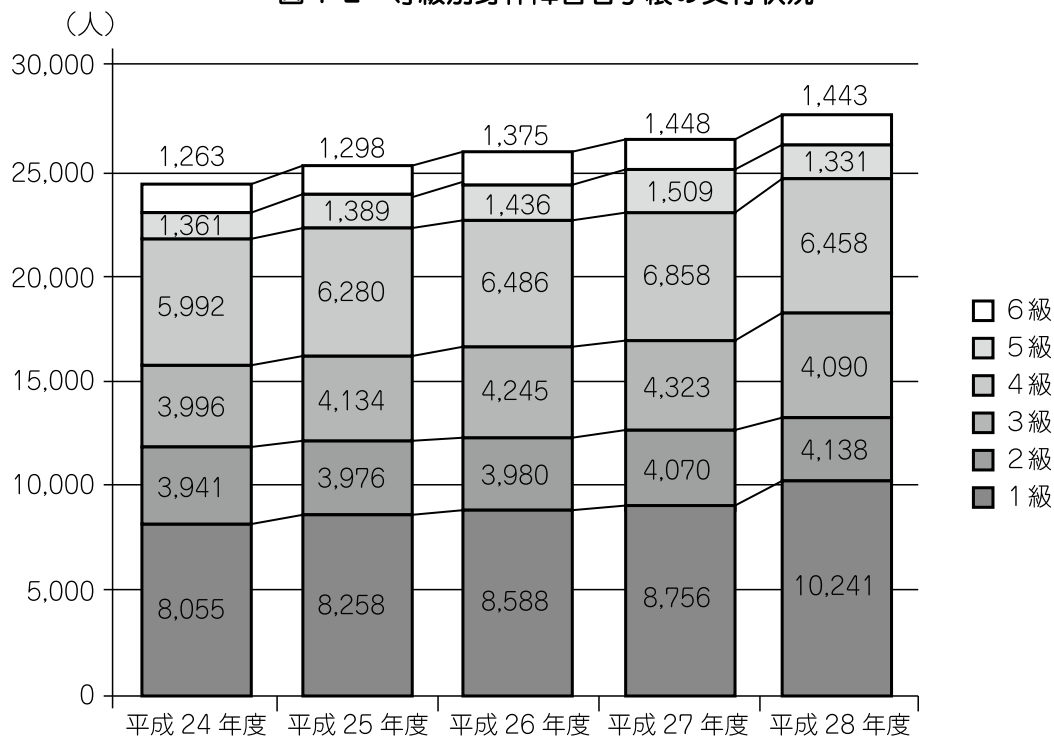
年齢階層	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	全体		24,608	25,335	26,110	26,964
18歳未満		917	939	962	997	649
18歳以上		23,691	24,396	25,148	25,967	27,052



## ②等級別身体障害者手帳の交付状況の推移

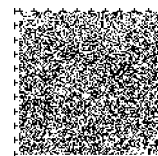
等級別に身体障害者手帳の交付状況の推移をみると、各年度とも1級と2級で全体の5割程度を占めています。特に1級が増加傾向にあります。

図 1-2 等級別身体障害者手帳の交付状況



(人)

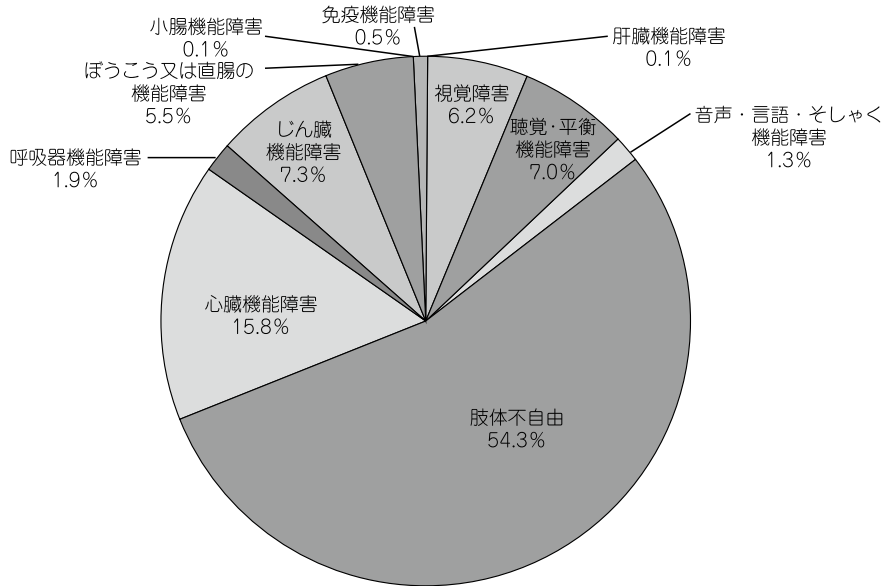
等級 \ 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
1 級	8,055	8,258	8,588	8,756	10,241
2 級	3,941	3,976	3,980	4,070	4,138
3 級	3,996	4,134	4,245	4,323	4,090
4 級	5,992	6,280	6,486	6,858	6,458
5 級	1,361	1,389	1,436	1,509	1,331
6 級	1,263	1,298	1,375	1,448	1,443



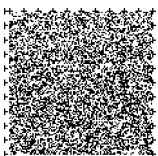
③身体障害者手帳の交付状況(内訳)

身体障害者手帳の交付状況の内訳をみると「肢体不自由」が54.3%で最も割合が高く、次いで「心臓機能障害」が15.8%となっています。

図1-3 身体障害者手帳の交付状況(内訳) 平成28年度



障害部位	人数(人)	構成比(%)
全 体	27,701	100.0%
視覚障害	1,641	6.2%
聴覚・平衡機能障害	2,031	7.0%
音声・言語・そしゃく機能障害	335	1.3%
肢体不自由	14,327	54.3%
心臓機能障害	4,940	15.8%
呼吸器機能障害	401	1.9%
じん臓機能障害	2,287	7.3%
ぼうこう又は直腸の機能障害	1,471	5.5%
小腸機能障害	29	0.1%
免疫機能障害	185	0.5%
肝臓機能障害	54	0.1%



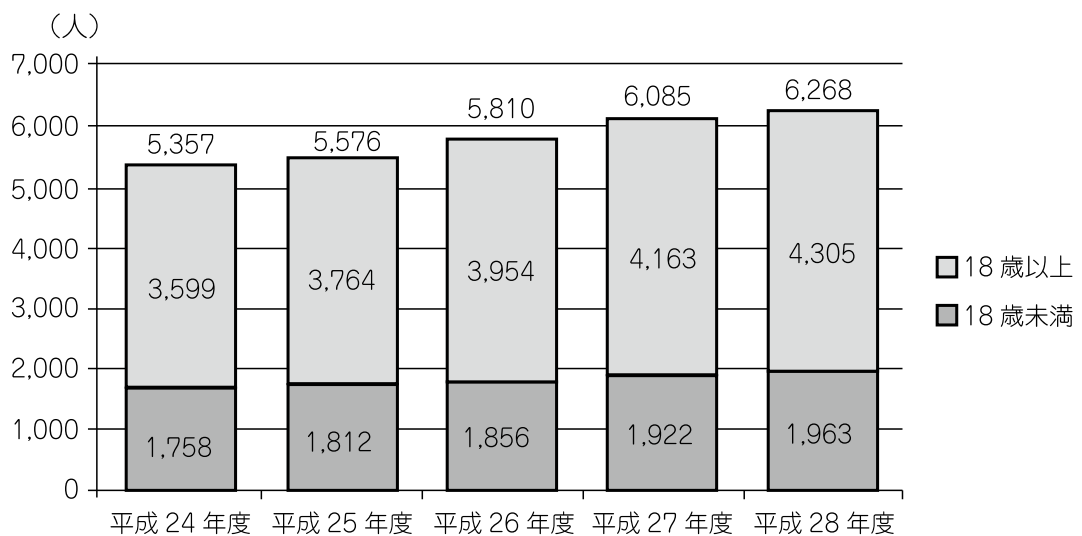
## (2) 知的障害者

### ① 療育手帳の交付状況の推移

療育手帳の交付状況の推移をみると、毎年度、増加傾向にあり、平成 24 年度の 5,357 人から平成 28 年度には 6,268 人となっています。

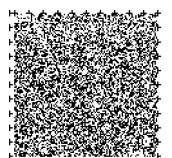
また、18 歳未満の比率は、全体の 3 割程度を占めています。

図 2-1 療育手帳の交付状況の推移



(人)

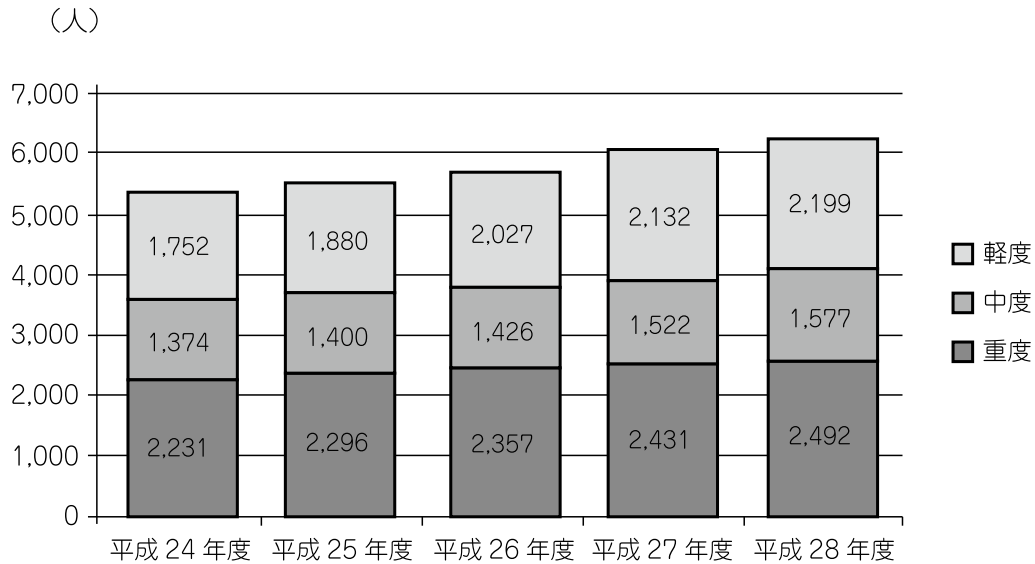
年齢階層 \ 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
全 体	5,357	5,576	5,810	6,085	6,268
18 歳未満	1,758	1,812	1,856	1,922	1,963
18 歳以上	3,599	3,764	3,954	4,163	4,305



②障害程度別療育手帳の交付状況の推移

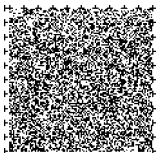
障害程度別に療育手帳の交付状況をみると、各年度とも、重度が全体の4割程度を占めています。特に軽度が増加傾向にあります。

図 2-2 障害程度別療育手帳の交付状況の推移



(人)

障害程度 \ 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
重度	2,231	2,296	2,357	2,431	2,492
中度	1,374	1,400	1,426	1,522	1,577
軽度	1,752	1,880	2,027	2,132	2,199

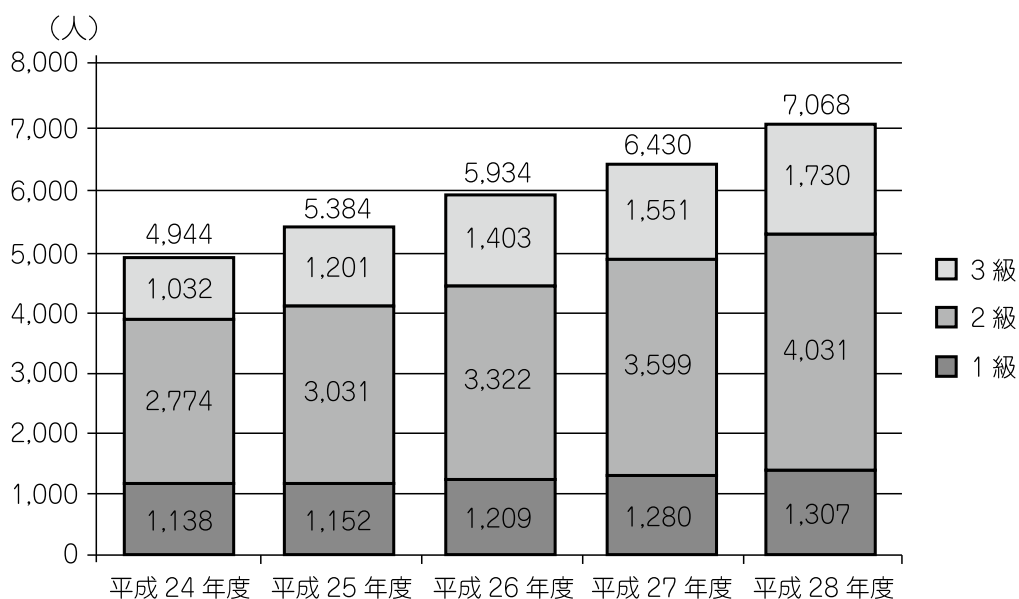


### (3)精神障害者

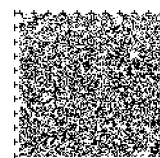
#### ①等級別精神障害者保健福祉手帳所持者数の推移

精神障害者保健福祉手帳の所持者の推移をみると、毎年度、増加傾向にあり、平成24年度の4,944人から、平成28年度には7,068人となっており、5年間で約1.4倍となっています。また、等級では2級が最も多くなっています。

図 3-1 等級別精神障害者保健福祉手帳所持者数の推移



年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
等級	全体	4,944	5,384	5,934	6,430	7,068
	1級	1,138	1,152	1,209	1,280	1,307
	2級	2,774	3,031	3,322	3,599	4,031
	3級	1,032	1,201	1,403	1,551	1,730



②精神障害者通院医療費公費負担患者数の推移

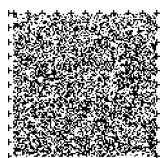
精神障害者の通院医療費公費負担患者数の推移をみると、総数では、平成24年度の11,606人から、平成28年度には14,143人となっています。

なお、平成28年度の内訳をみると、「うつ病等」が6,771人で最も多く、次いで「統合失調症」が3,833人となっています。

図3-2 精神障害者通院医療費公費負担患者数の推移

(人)

病名 \ 年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
総数	11,606	12,217	12,725	13,394	14,143
統合失調症	3,437	3,616	3,695	3,787	3,833
うつ病等	5,507	5,788	6,015	6,408	6,771
脳器質性精神障害	259	309	362	405	484
中毒性精神障害	211	226	238	259	269
その他の精神疾患	141	172	173	190	231
知的障害	193	245	277	327	388
人格障害	73	80	77	82	77
精神神経症	869	902	926	1,003	1,062
てんかん	655	686	709	729	748
その他	261	193	253	204	280



## 2 実態調査結果

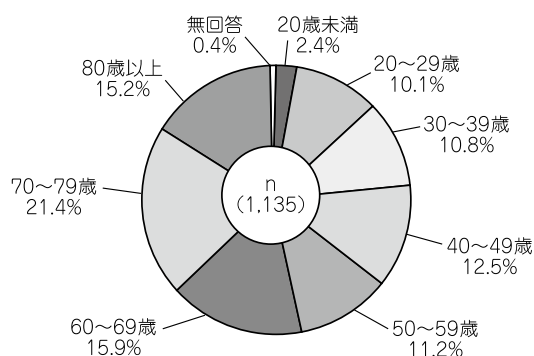
出典：「千葉市障害者計画・障害福祉計画策定に係る実態調査報告書—障害者生活実態・意向調査—(平成 29 年 3 月)」

### (1) 障害者ご本人について

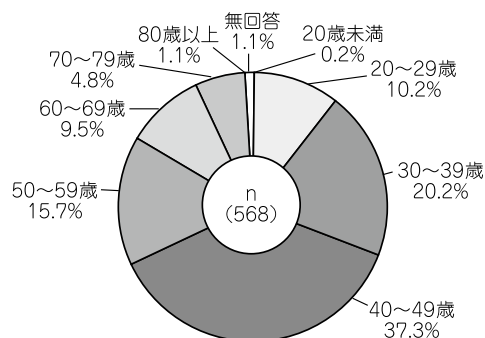
#### ① 年齢

在宅の方(18 歳以上)では「70～79 歳」、施設に入所している方(18 歳以上)では「40～49 歳」、18 歳未満の方では「12～14 歳」、発達障害のある方(18 歳以上)では「20～29 歳」、発達障害のある方(18 歳未満)では「3～5 歳」が最も多くなっています。

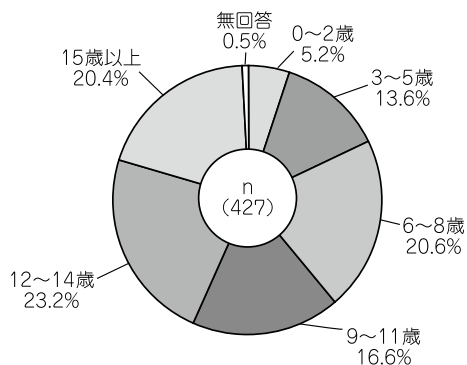
【在宅の方(18 歳以上)】



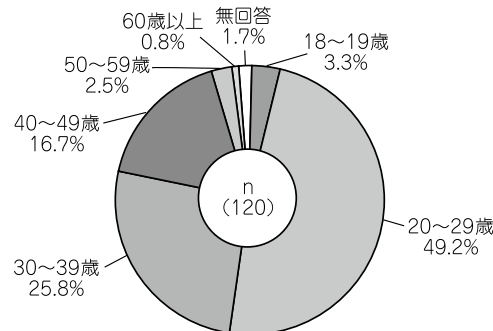
【施設に入所している方(18 歳以上)】



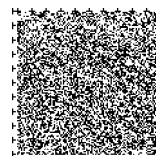
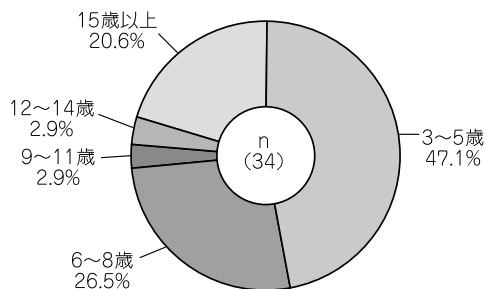
【18 歳未満の方】



【発達障害のある方(18 歳以上)】



【発達障害のある方(18 歳未満)】

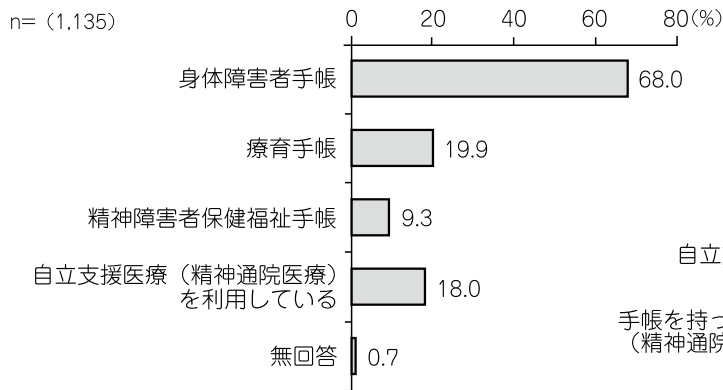




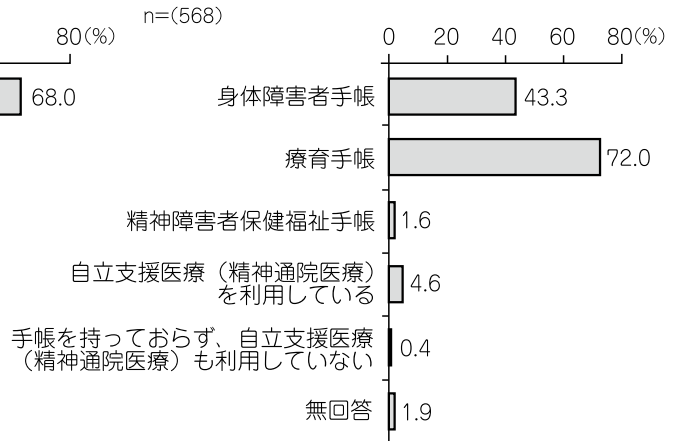
## ②障害の種別

在宅の方(18歳以上)では「身体障害者手帳」、施設に入所している方(18歳以上)及び18歳未満の方では「療育手帳」が最も多くなっています。

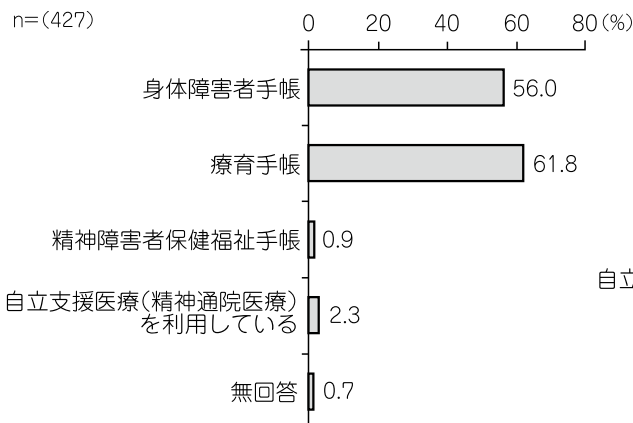
【在宅の方(18歳以上)】



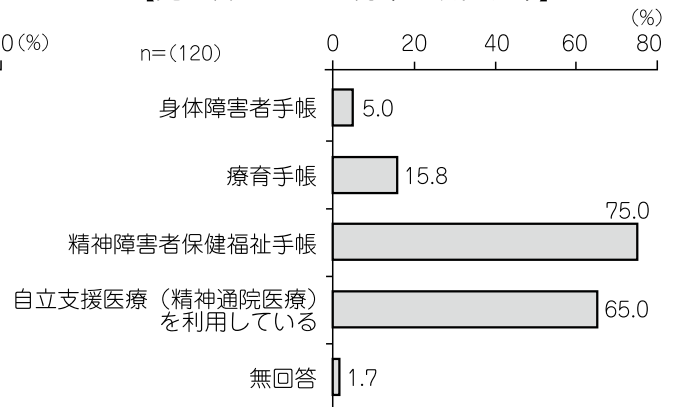
【施設に入所している方(18歳以上)】



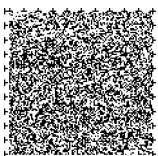
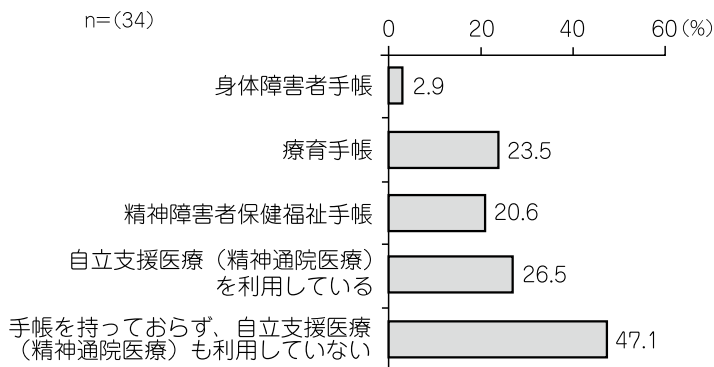
【18歳未満の方】



【発達障害のある方(18歳以上)】



【発達障害のある方(18歳未満)】

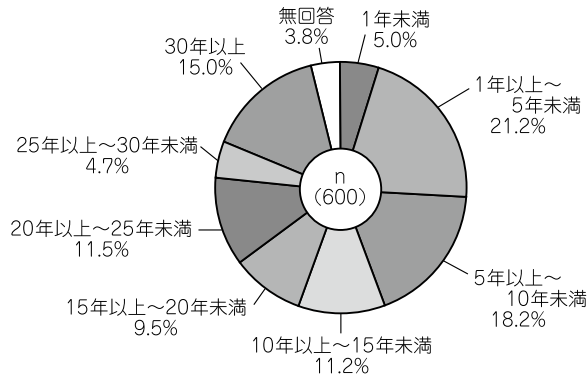


## (2) ご家族や介助者について

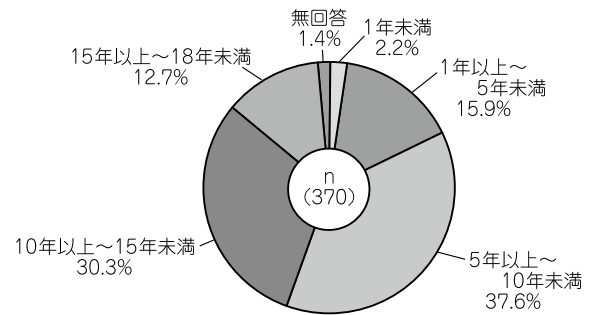
### ① 主な介助者の介助継続年数

18歳未満の方では「10年以上～15年未満」が、他の調査に比べて多くなっています。

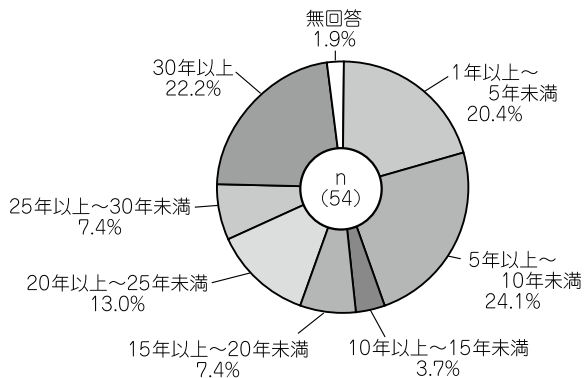
【在宅の方(18歳以上)】



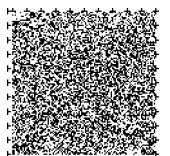
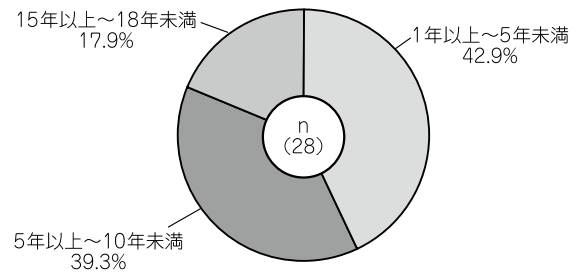
【18歳未満の方】



【発達障害のある方(18歳以上)】



【発達障害のある方(18歳未満)】

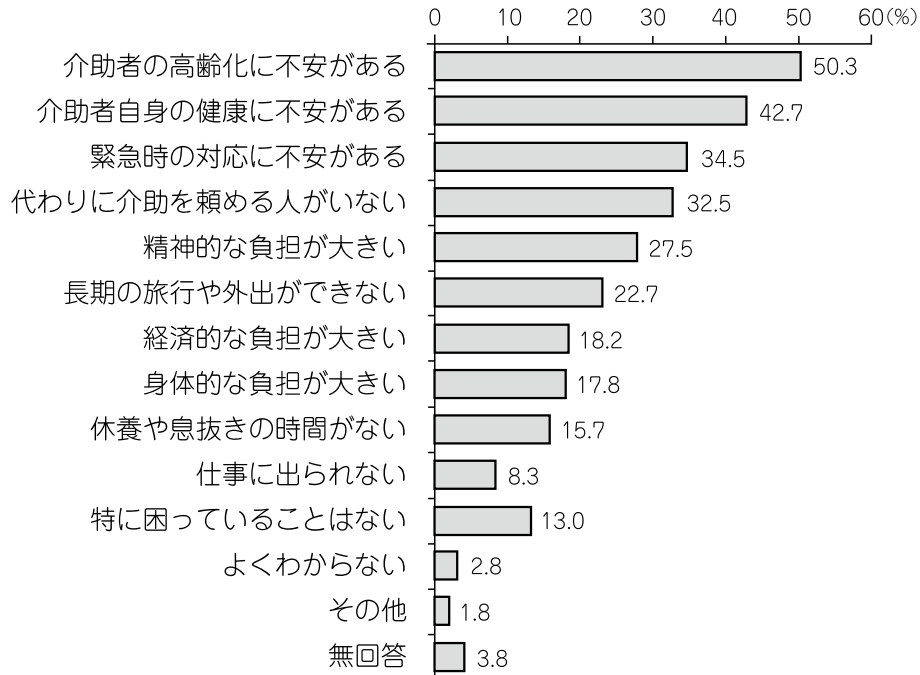


## ② 主な介助者が困っていること

在宅の方(18歳以上)では「介助者の高齢化に不安がある」、18歳未満の方では「緊急時の対応に不安がある」、発達障害のある方はいずれも「精神的な負担が大きい」が最も多くなっています。

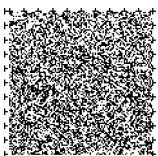
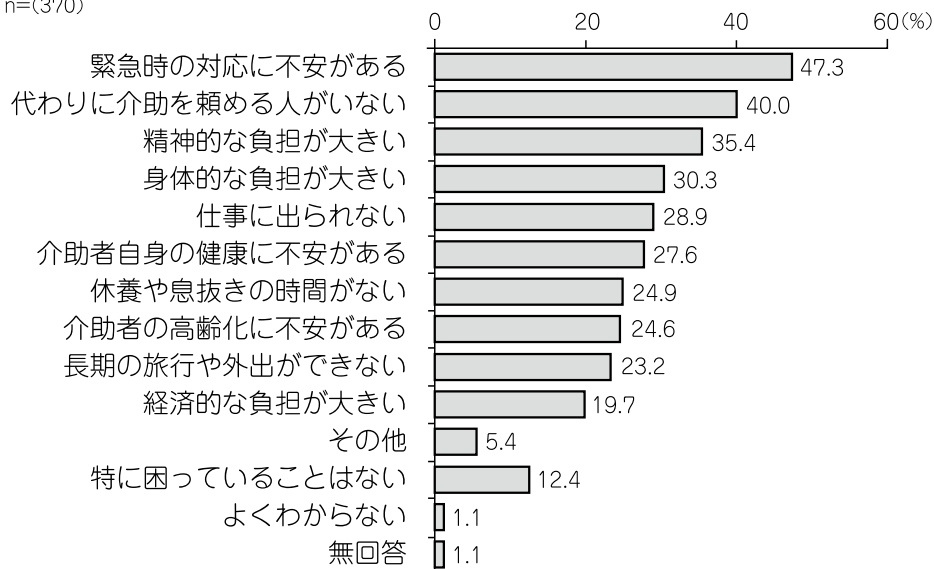
### 【在宅の方(18歳以上)】

n=(600)

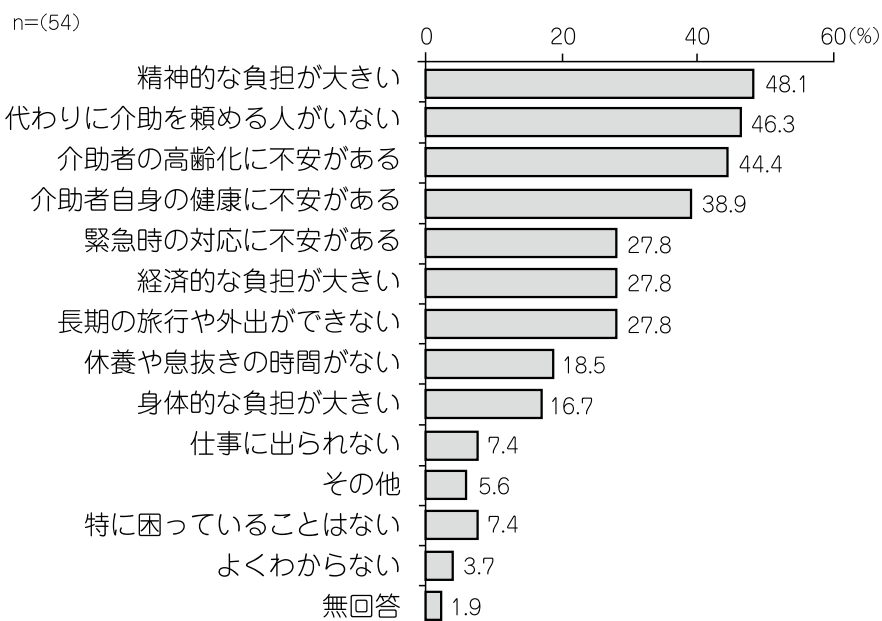


### 【18歳未満の方】

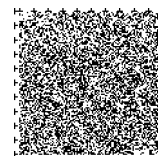
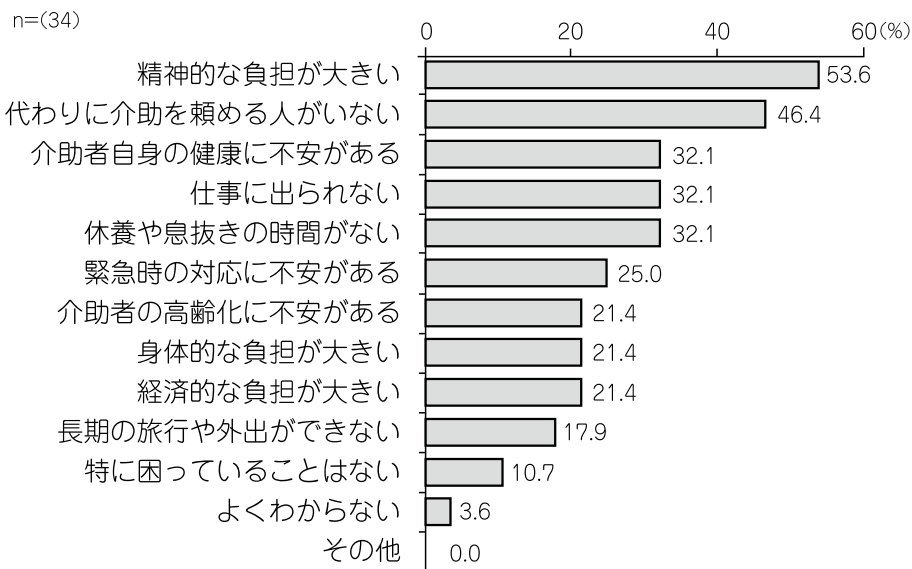
n=(370)



### 【発達障害のある方(18歳以上)】



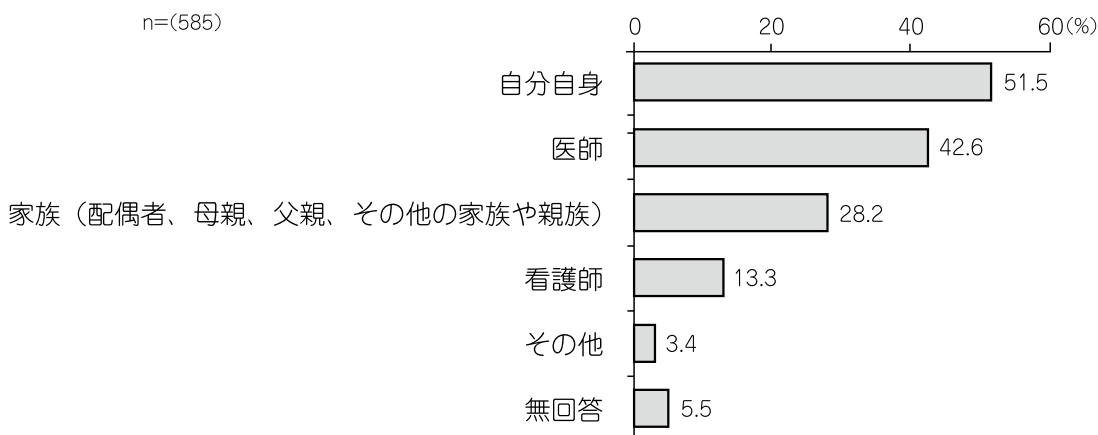
### 【発達障害のある方(18歳未満)】



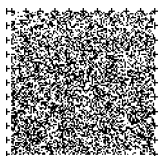
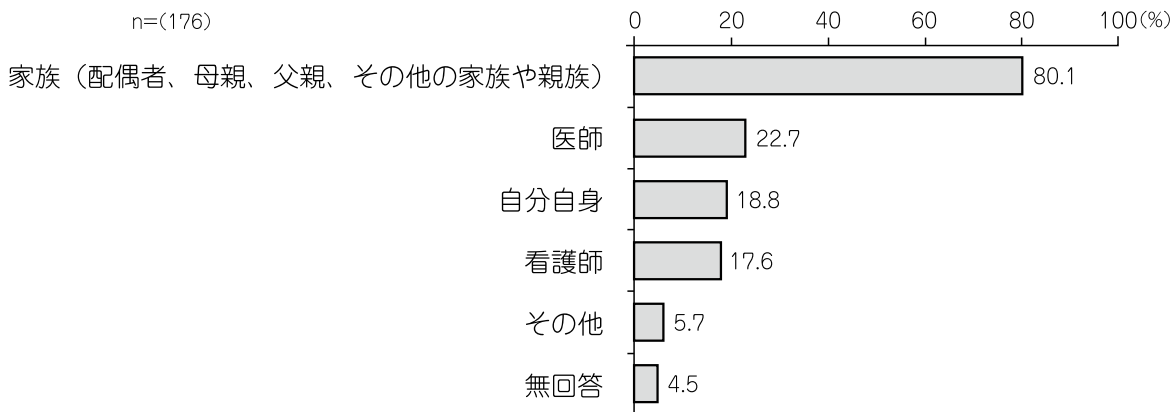
### (3) 医療的ケアを行っている人

在宅の方(18歳以上)では「自分自身」、18歳未満の方では「家族(配偶者、母親、父親、その他の家族や親族)」が最も多くなっています。

#### 【在宅の方(18歳以上)】



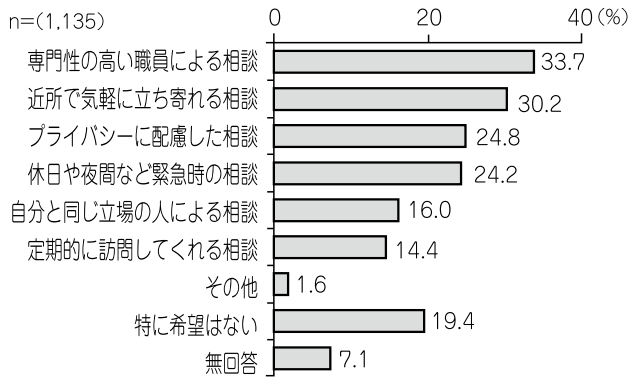
#### 【18歳未満の方】



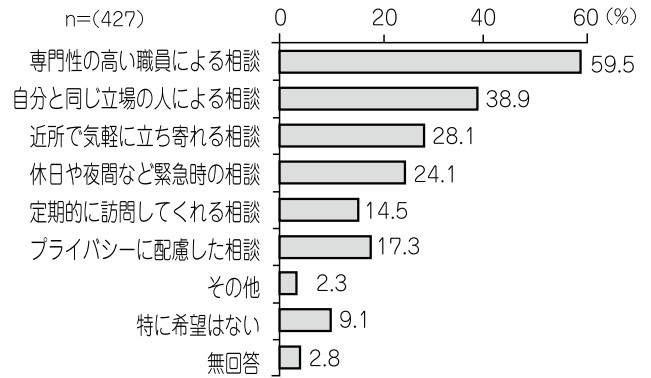
#### (4) 希望する相談制度

いずれも「専門性の高い職員による相談」が最も多くなっています。

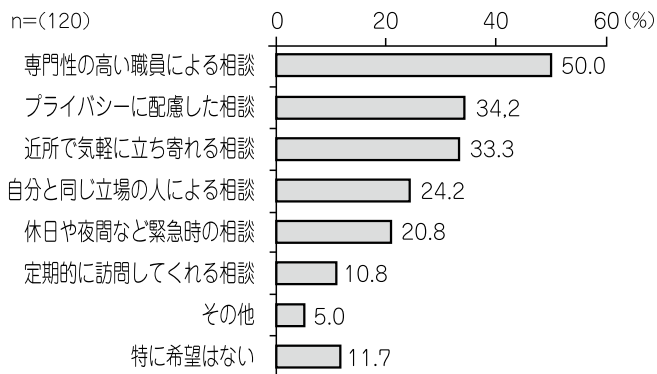
【在宅の方(18歳以上)】



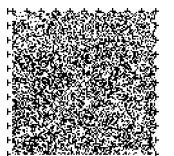
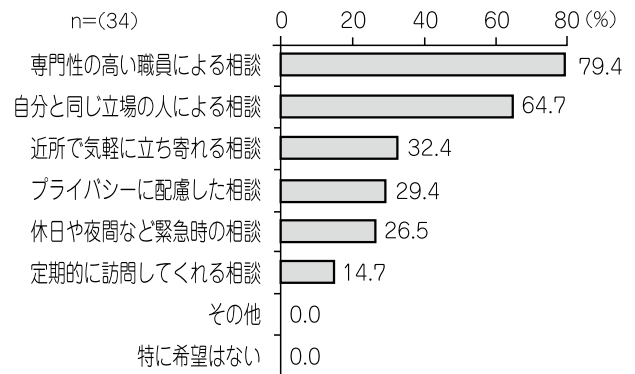
【18歳未満の方】



【発達障害のある方(18歳以上)】



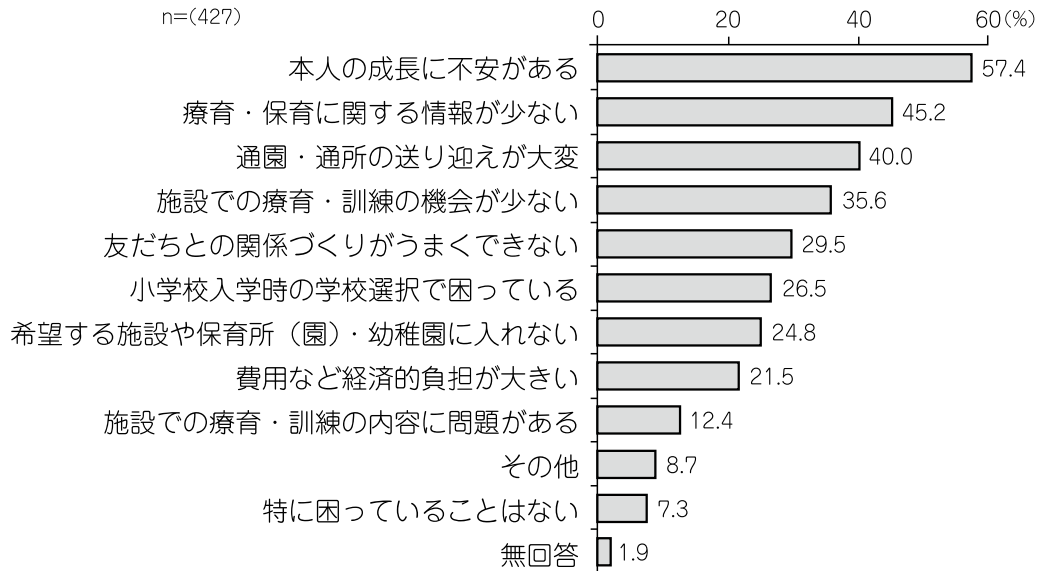
【発達障害のある方(18歳未満)】



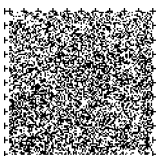
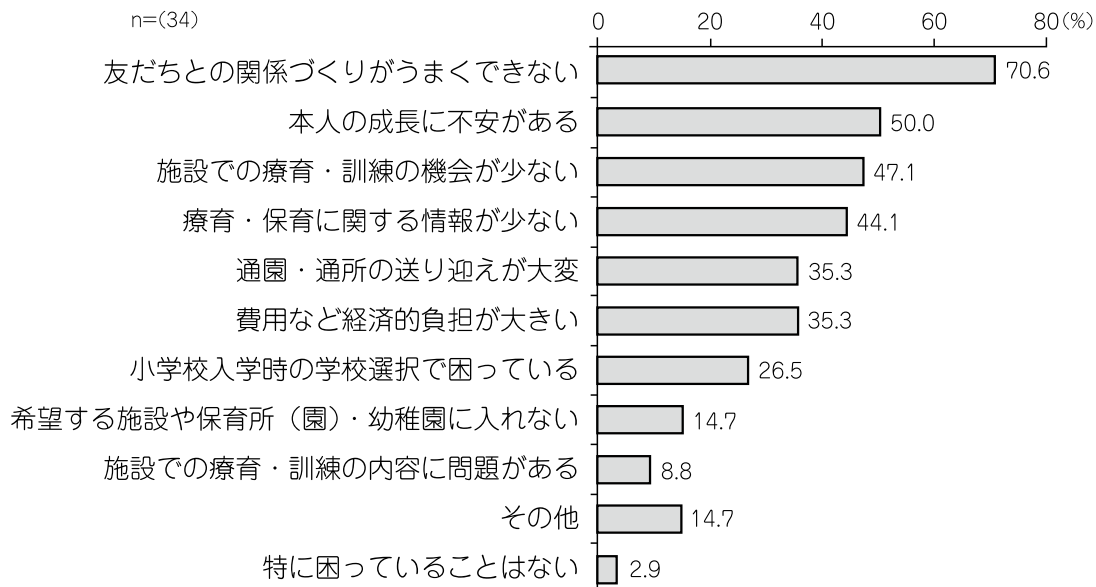
### (5) 療育・保育について困っていること

18歳未満の方では「本人の成長に不安がある」、発達障害のある方(18歳未満)では「友だちとの関係づくりがうまくできない」が最も多くなっています。

#### 【18歳未満の方】



#### 【発達障害のある方(18歳未満)】

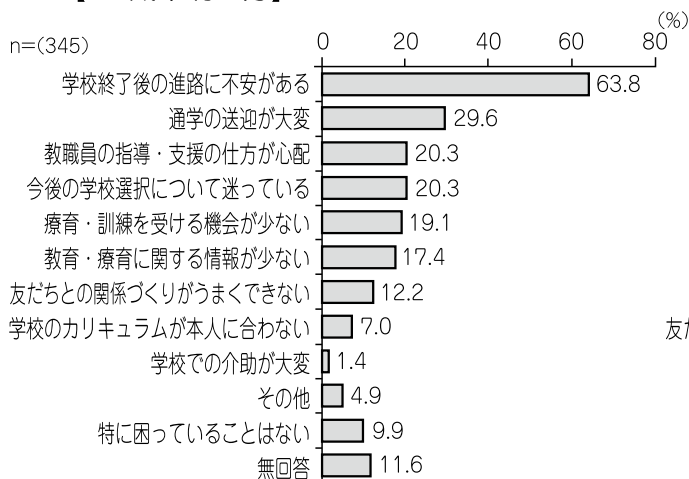


## (6) 学校・教育について

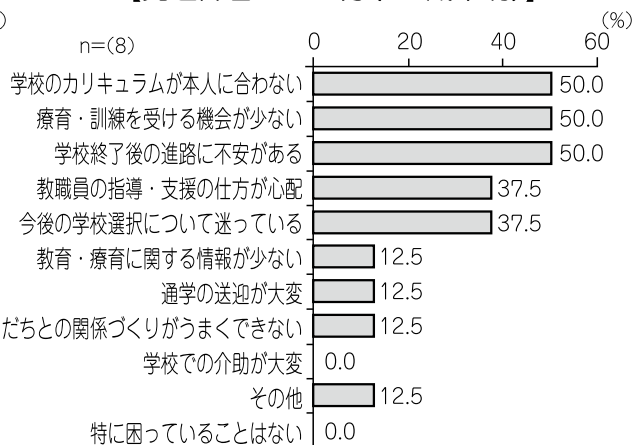
### ① 学校・教育について困っていること

18歳未満の方では「学校終了後の進路に不安がある」が特に多くなっています。

#### 【18歳未満の方】



#### 【発達障害のある方(18歳未満)】

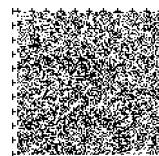
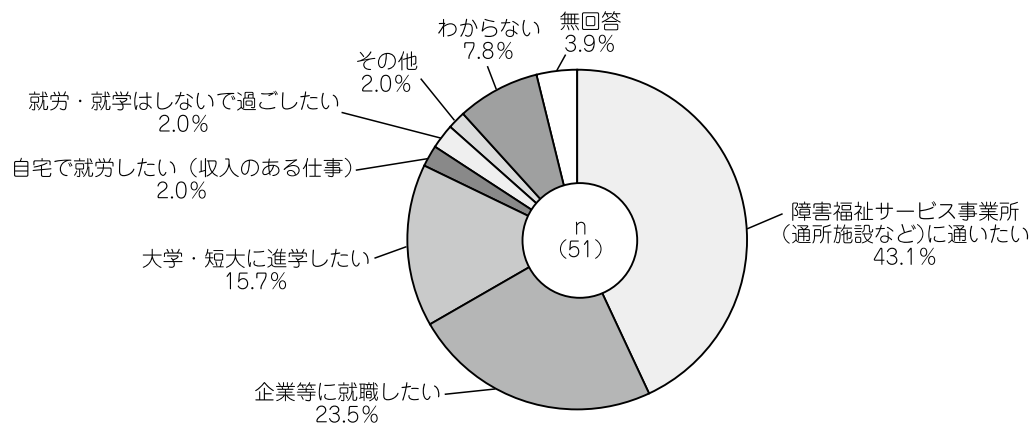


### ② 学校卒業後の進路希望

高等学校(高等部)在学中の18歳未満の方では「障害福祉サービス事業所(通所施設など)に通いたい」が最も多くなっています。

なお、発達障害のある方(18歳未満)は回答数が少なかったため、結果を省略しました。

#### 【18歳未満の方】

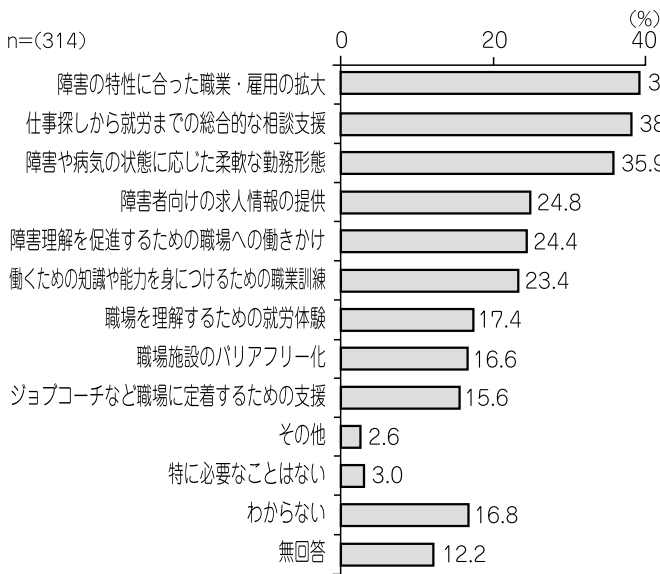




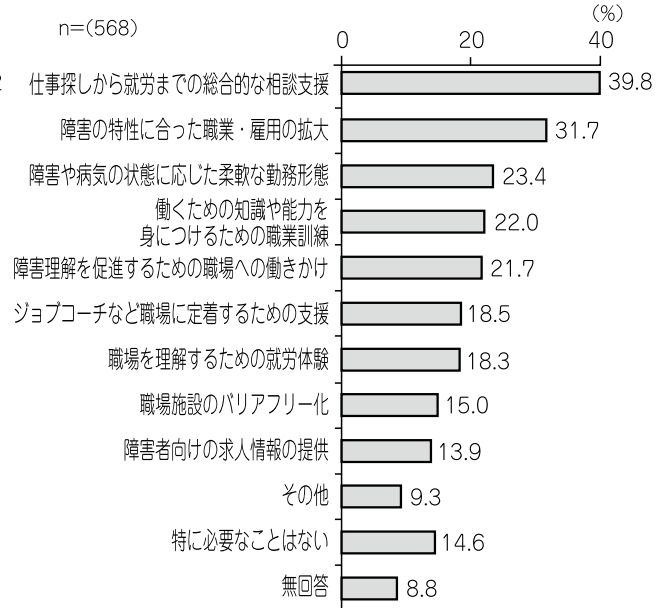
(7)一般就労のために必要なこと

在宅の方(18歳以上)及び発達障害のある方(18歳以上)では「障害の特性に合った職業・雇用の拡大」、施設に入所している方(18歳以上)では「仕事探しから就労までの総合的な相談支援」が最も多くなっています。

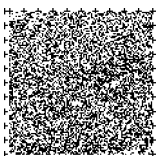
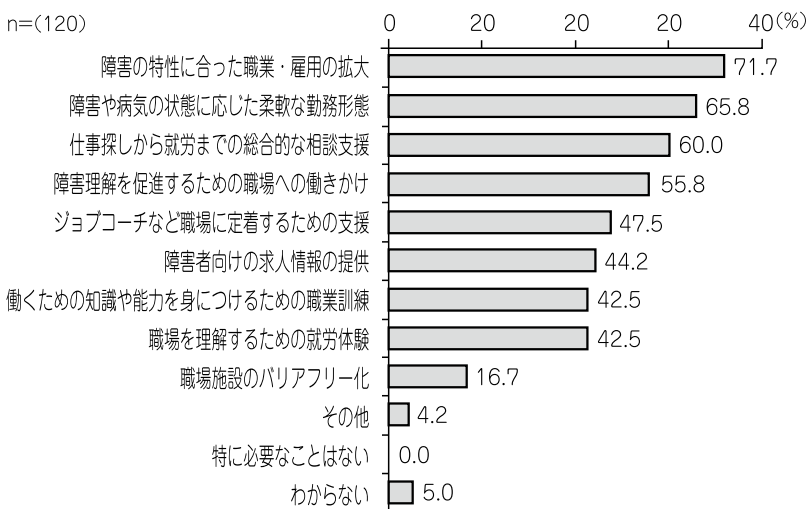
【在宅の方(18歳以上)】



【施設に入所している方(18歳以上)】



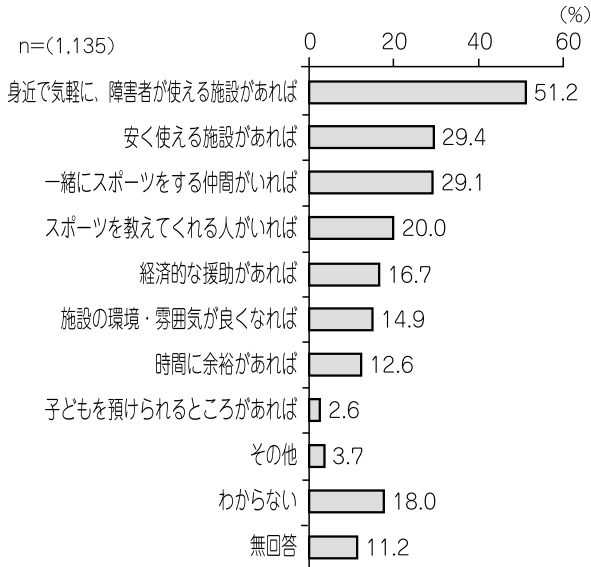
【発達障害のある方(18歳以上)】



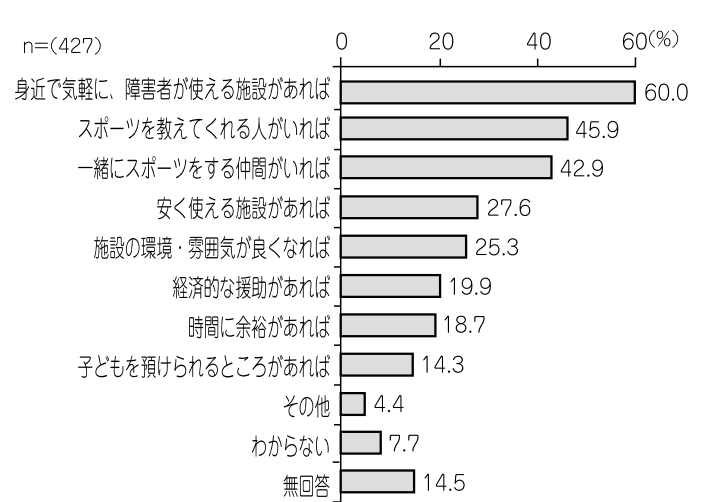
## (8) 障害者がスポーツ活動をより多く行うために必要なこと

いずれも「身近で気軽に、障害者が使える施設があれば」が最も多くなっています。

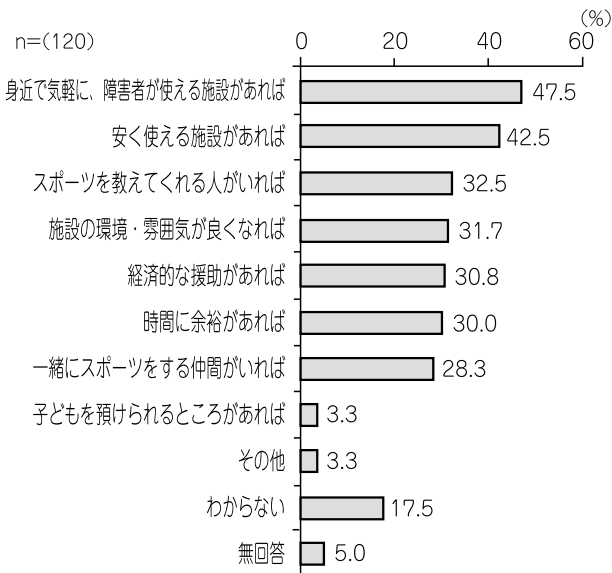
### 【在宅の方(18歳以上)】



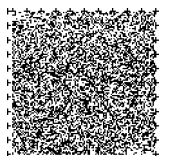
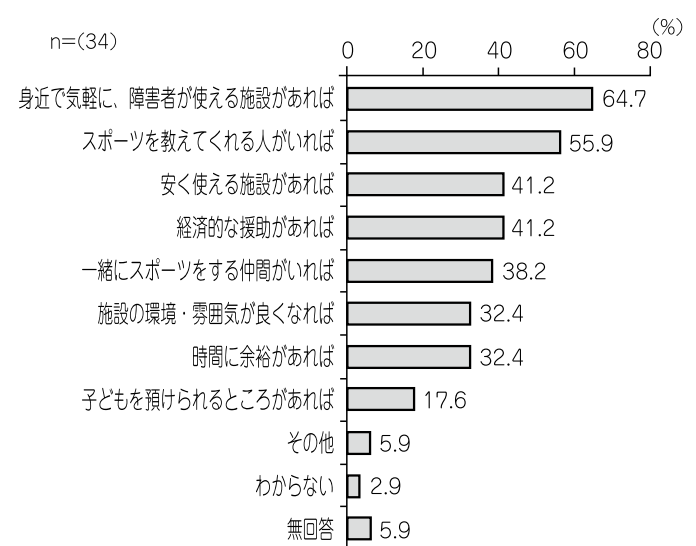
### 【18歳未満の方】



### 【発達障害のある方(18歳以上)】



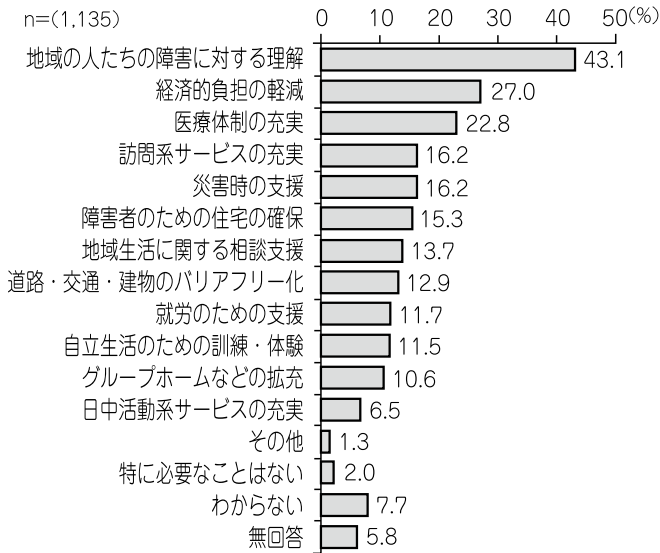
### 【発達障害のある方(18歳未満)】



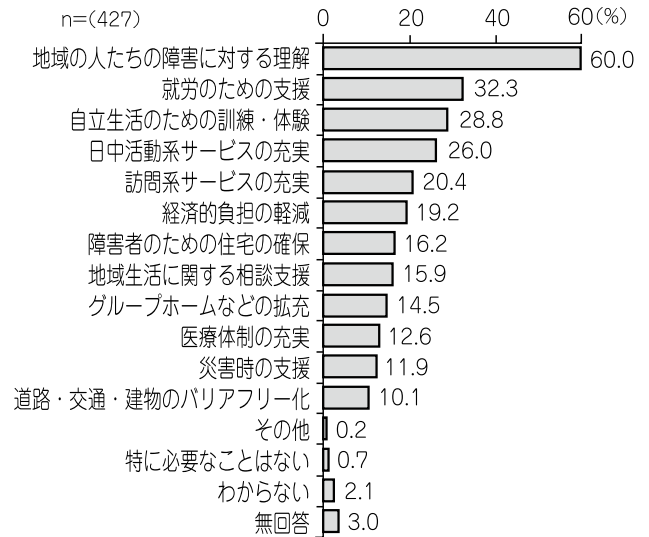
(9) 地域で生活するために必要なこと

いずれも「地域の人たちの障害に対する理解」が最も多くなっています。

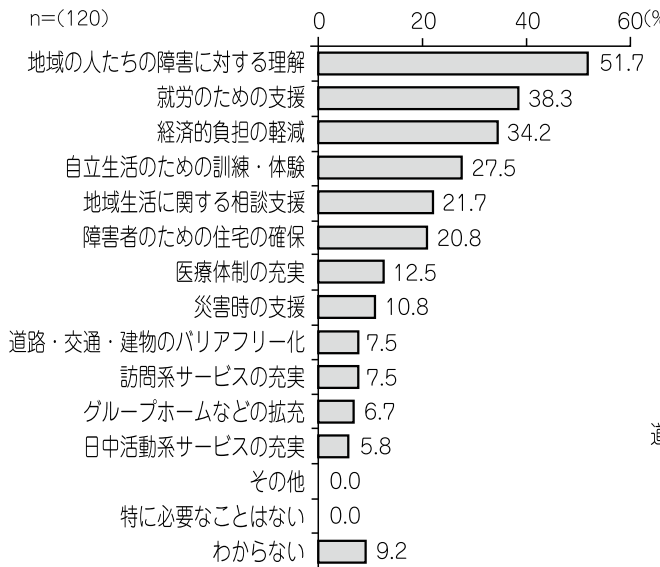
【在宅の方(18歳以上)】



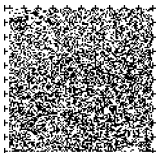
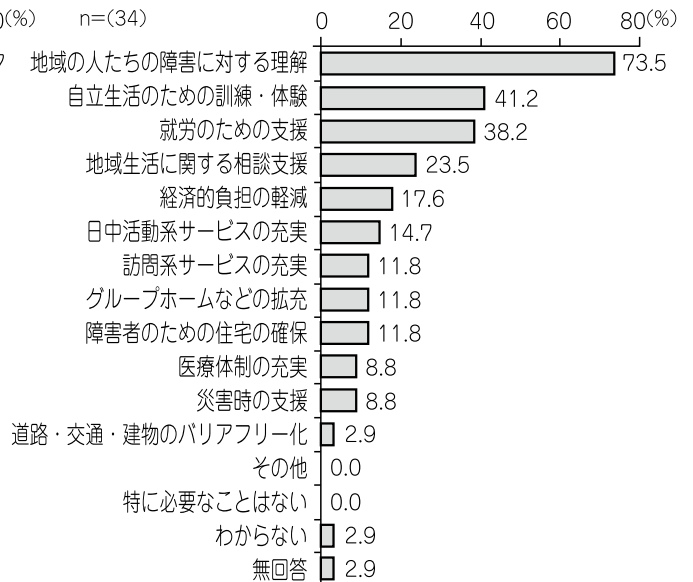
【18歳未満の方】



【発達障害のある方(18歳以上)】



【発達障害のある方(18歳未満)】



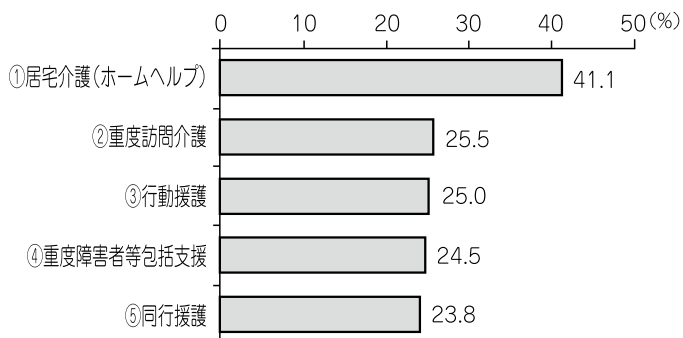
## (10) サービス利用について

### ① 訪問系サービスの利用意向

いずれも利用意向は「居宅介護(ホームヘルプ)」が最も多くなっています。

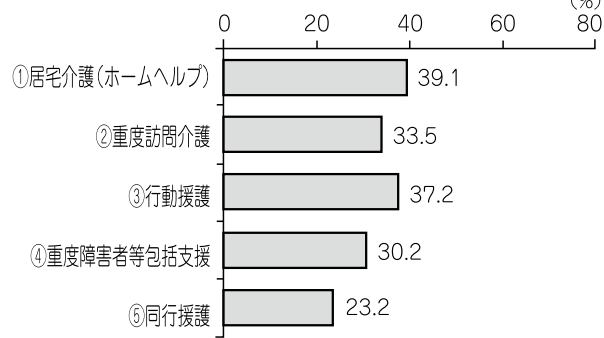
#### 【在宅の方(18歳以上)】

n=(1,135)



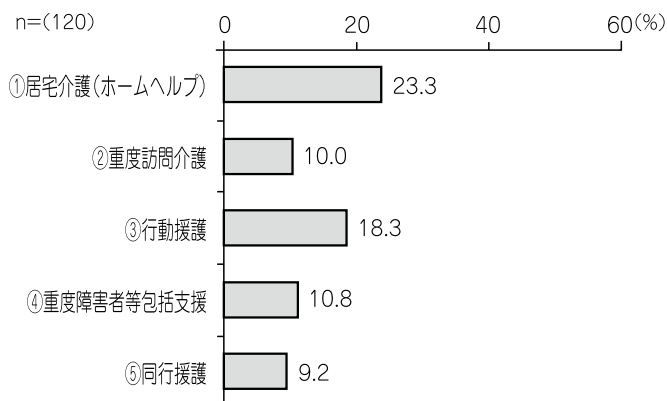
#### 【18歳未満の方】

n=(427)



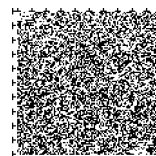
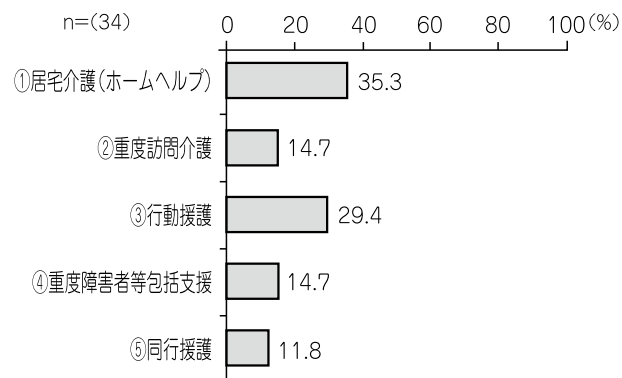
#### 【発達障害のある方(18歳以上)】

n=(120)



#### 【発達障害のある方(18歳未満)】

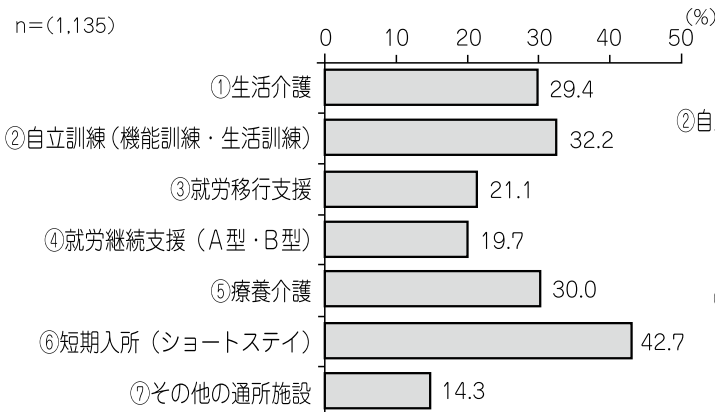
n=(34)



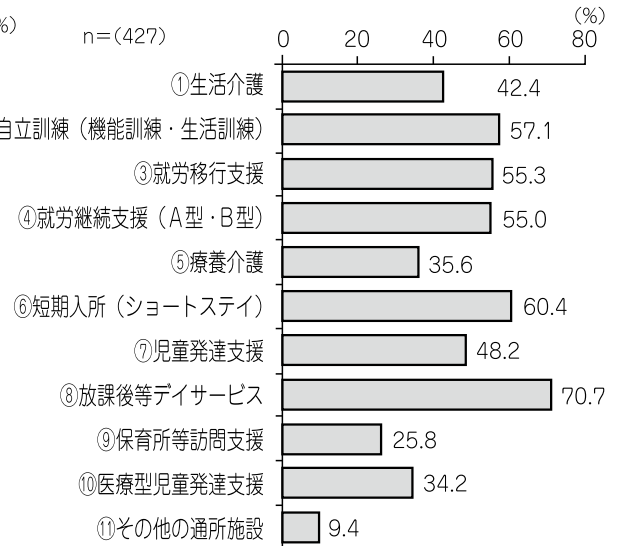
## ②日中活動系サービスの利用意向

発達障害のある方(18歳未満)では「児童発達支援」が特に高くなっています。

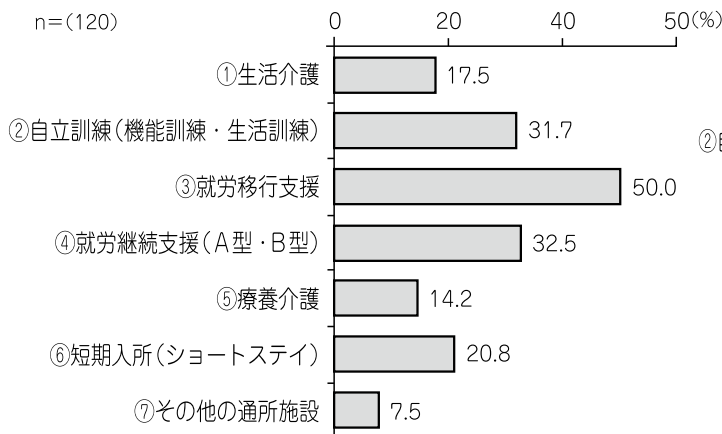
【在宅の方(18歳以上)】



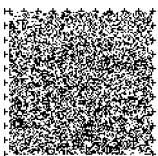
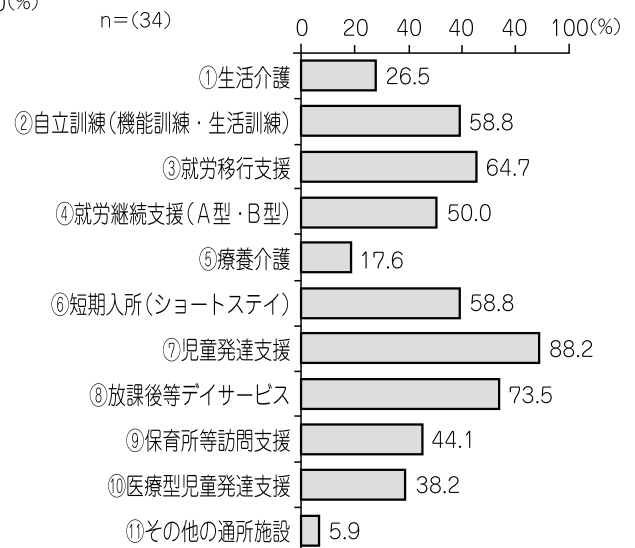
【18歳未満の方】



【発達障害のある方(18歳以上)】



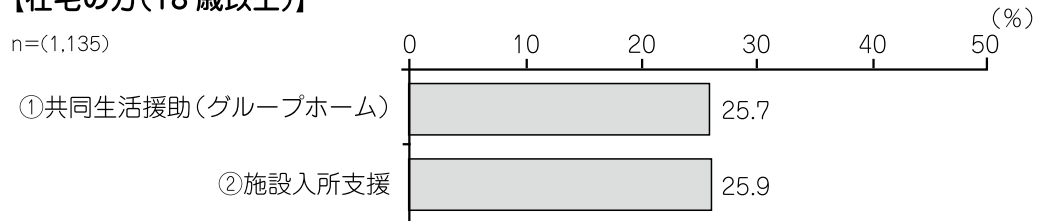
【発達障害のある方(18歳未満)】



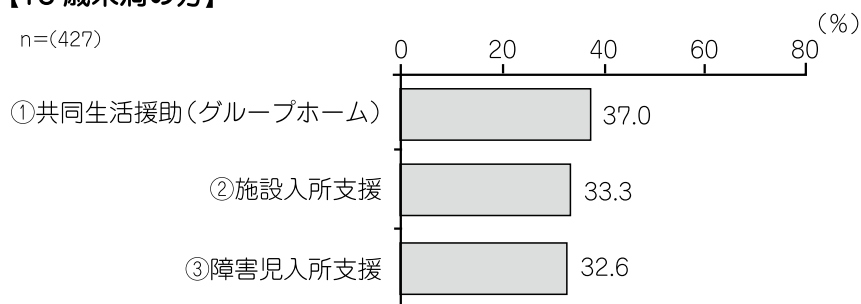
### ③ 居住系サービスの利用意向

18歳未満の方では、いずれのサービスの利用意向も3割を超えて高くなっています。

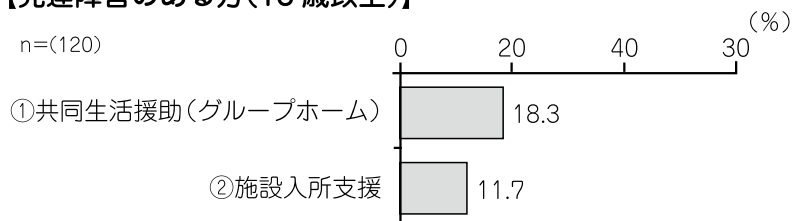
#### 【在宅の方(18歳以上)】



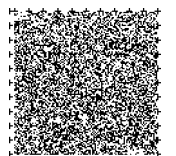
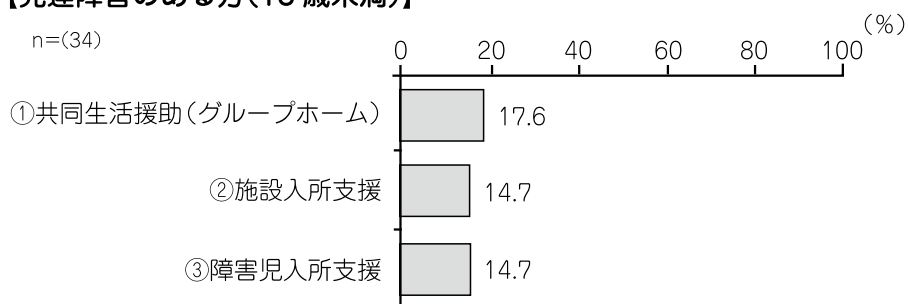
#### 【18歳未満の方】



#### 【発達障害のある方(18歳以上)】



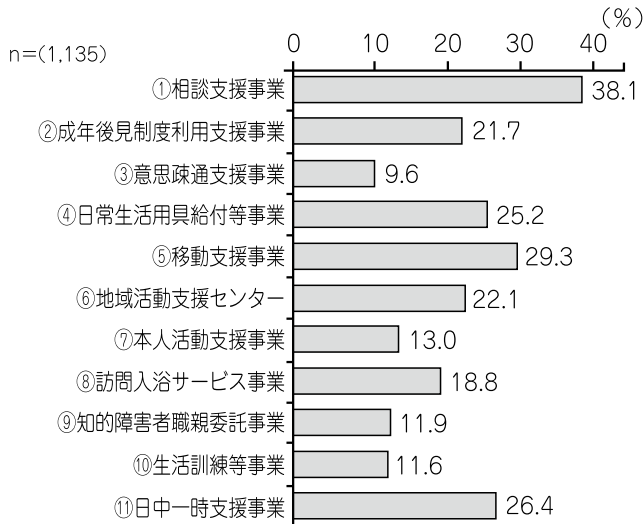
#### 【発達障害のある方(18歳未満)】



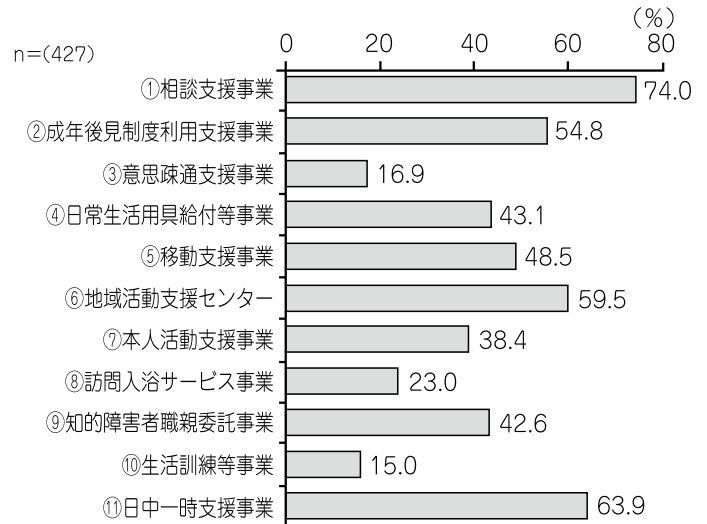
#### ④地域生活支援事業の利用意向

いずれの障害者も「相談支援事業」が最も高くなっています。

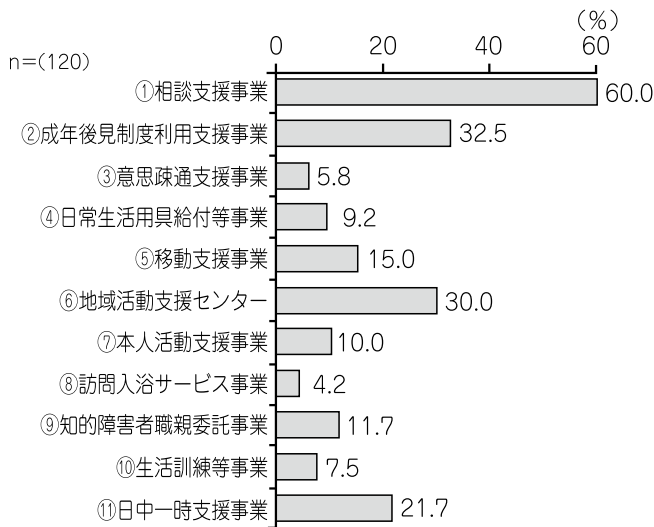
【在宅の方(18歳以上)】



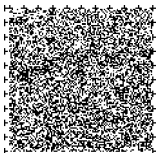
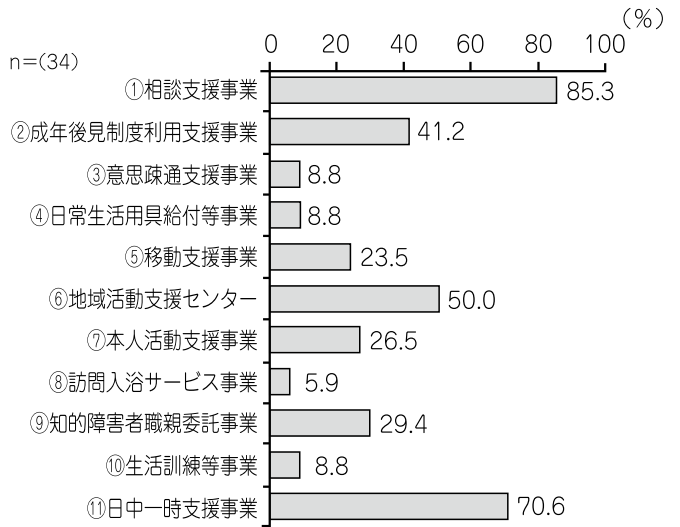
【18歳未満の方】



【発達障害のある方(18歳以上)】



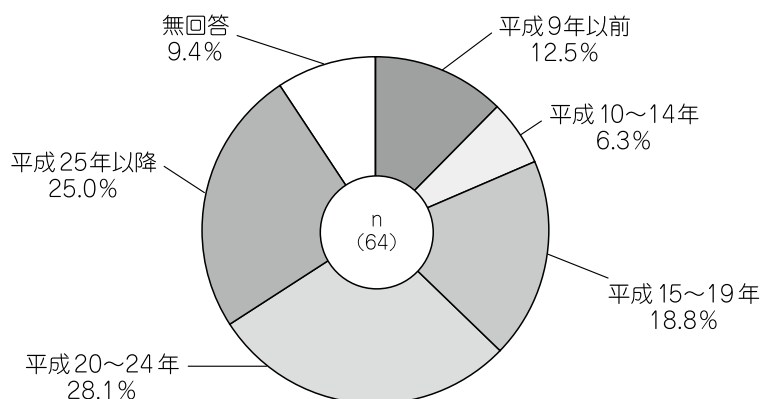
【発達障害のある方(18歳未満)】



## (11) サービス事業所について

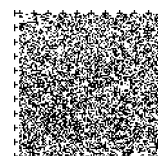
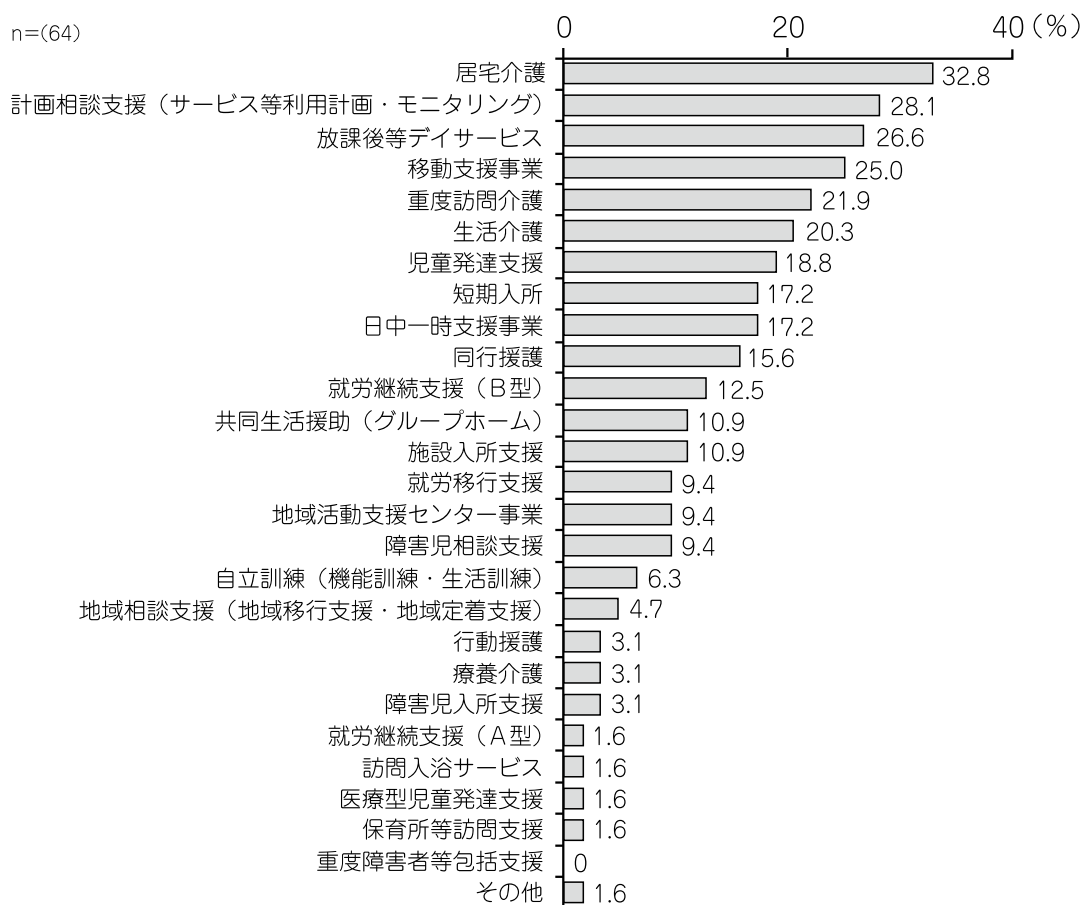
### ① 開業年

「平成20～24年」が最も多くなっています。



### ② 提供しているサービス

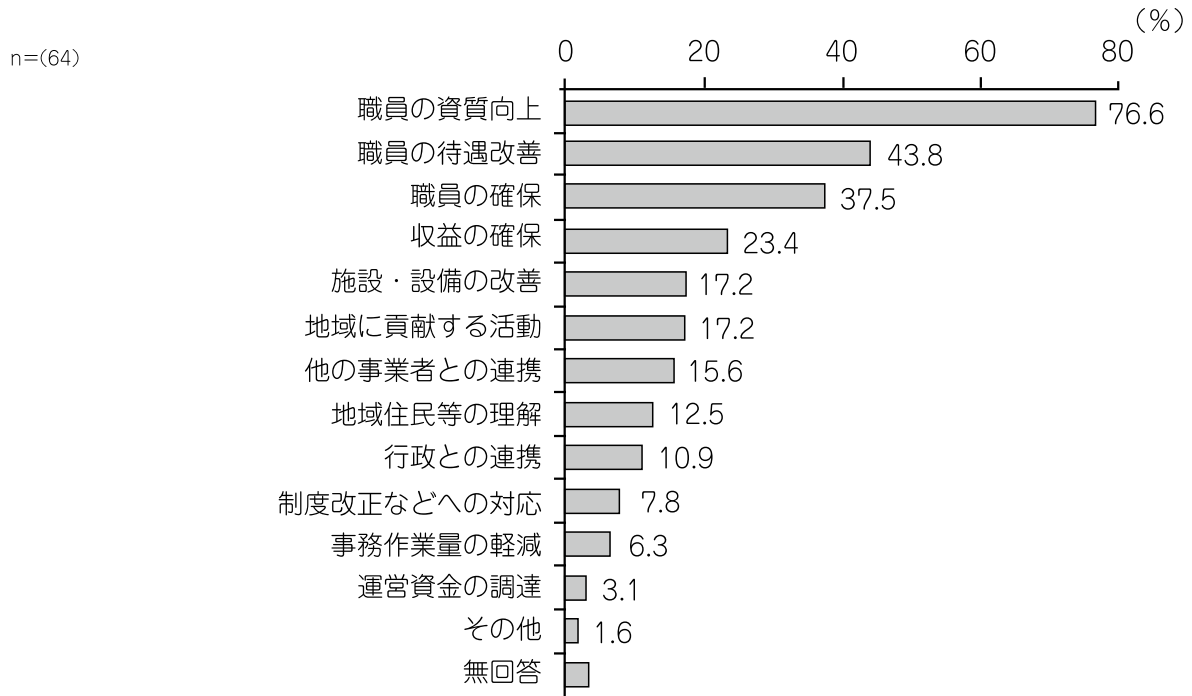
「居宅介護」が最も多くなっています。





### ③ 経営上の重視点

「職員の資質向上」が最も多くなっています。



### ④ サービスを提供する上での課題

「困難事例への対応が難しい」が最も多くなっています。

